

HPV ワクチンについて

HPV および HPV ワクチンとは

HPV（ヒトパピローマウイルス）は、主に性行為によって感染するウイルスで、生涯で80%以上の人が一度は感染するといわれる一般的なウイルスです。多くの場合、免疫によって排除されますが、一部のウイルスが体内に残ると、がんの原因となることがあります。とくに、女性では80%以上、男性では90%以上が生涯に何らかのHPVに感染するとされています。

HPVには、がんに関連する「ハイリスク型」と、良性の病気を引き起こす「ローリスク型」があり、ハイリスク型は子宮頸がん、陰茎がん、肛門がんの原因となり、ローリスク型は尖圭コンジローマ（性器疣贅）に関わります。

HPV ワクチンはこれらの感染を予防するための予防接種です。代表的ながんである子宮頸がんは20代以降の若年層にも発症することがあり、進行すると妊娠や出産に大きな影響を及ぼします。ただし、すべてのがんを予防するわけではないため、定期的な検診も重要です。

当院で提供している HPV ワクチン

当院では、HPV6/11/16/18に対応する4価ワクチン「ガーダシル」と、HPV31/33/45/52/58も含む9価ワクチン「シルガード9」の2種類を取り扱っています。どちらも3回接種（初回、2か月後、6か月後）で安全性も証明されています。男性はガーダシルのみの適応となります。

接種は完全予約制で、事前にワクチンの在庫を確認のうえで進めております。

ガーダシル

子宮頸がんの65.4%、肛門がんの87%をはじめ、外陰がん、膣がん、尖圭コンジローマなどの予防に効果的です。男性への投与も認められております。

1回の接種費用は、17,000円（税抜）です。

適応：9歳以上（男性も含む）

投与回数：合計3回。2回目は初回接種の2か月後、3回目は6か月後です。

シルガード9

ガーダシルで予防できる 6/11/16/18 型に加え、HPV31/33/45/52/58 にも対応します。子宮頸がんの 90%以上の予防効果をもつことが期待できます。

1 回の接種費用は、27,000 円（税抜）です。

適応：9 歳以上の女性

投与回数：合計 3 回。2 回目は初回接種の 2 か月後、3 回目は 6 か月後です。

※ 9 歳以上 15 歳未満の女性は、初回接種から 6～12 か月の間隔をおいた合計 2 回接種することができます。

接種対象者

HPV ワクチンは、性行為によって感染するリスクがあるすべての方が対象です。特に 10 代から 26 歳未満の接種が推奨され、次いで 45 歳以下の接種も推奨されています。年齢を問わず、HPV 感染前や、感染している HPV が消失した後の再感染予防に効果があります。名古屋市に住民登録のある小学校 6 年生から高校 1 年生相当年齢の女子は、定期予防接種の対象となります。

定期予防接種の詳細は、[名古屋市公式サイト](#)をご覧ください。

男性への接種について

日本ではまず女性を対象に接種が始まりましたが、男女ともに接種することで、HPV6/11/16/18 の感染率が 100%減少するとのデータがあります。専門医は、男女ともに 80%以上の接種率を目指しています。

副作用について

重大な副作用は確認されていませんが、筋肉注射のため、注射部位に腫れや痛みが出ることがあります。以前、メディアで本ワクチンに関連しない症状が過剰に報道されたことがありましたが、医学的には因果関係はないとされ、疼痛が精神的な症状を悪化させた可能性が指摘されています。

HPV ワクチンに関するご質問やご予約については
当院までお気軽にお問い合わせください